

みずほCustomer Desk Report 2025/02/27号 (As of 2025/02/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	148.88 AUD/USD
TKY 9:00AM	149.05	1.0520	156.79	1.2676	0.6351
SYD-NY High	149.89	1.0529	157.10	1.2717	0.6353
SYD-NY Low	148.63	1.0475	156.07	1.2635	0.6296
NY 5:00 PM	149.12	1.0485	156.32	1.2674	0.6305
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,433.12	▲ 188.04	日本2年債	0.7900%	0.0000%
NASDAQ	19,075.26	48.87	日本10年債	1.3600%	▲0.0200%
S&P	5,956.06	0.81	米国2年債	4.0726%	▲0.0257%
日経平均	38,142.37	▲ 95.42	米国5年債	4.0828%	▲0.0473%
TOPIX	2,716.40	▲ 8.30	米国10年債	4.2543%	▲0.0431%
シゴ日経先物	38,075.00	100.00	独10年債	2.4380%	▲0.0130%
ロンドンFT	8,731.46	62.79	英10年債	4.5010%	▲0.0080%
DAX	22,794.11	383.84	豪10年債	4.3520%	▲0.0560%
ハンセン指数	23,787.93	753.91	USDJPY 1M Vol	10.86%	▲0.08%
上海総合	3,380.21	34.17	USDJPY 3M Vol	10.48%	▲0.09%
NY金	2,930.60	11.80	USDJPY 6M Vol	10.22%	0.00%
WTI	68.62	▲ 0.31	USDJPY 1M 25RR	▲1.68%	Yen Call Over
CRB指数	305.18	▲ 1.31	EURJPY 3M Vol	10.77%	▲0.09%
ドルインデックス	106.42	0.11	EURJPY 6M Vol	10.59%	0.03%

【昨日の指標等】

Date	Time	豪	Event	結果	予想
2月26日	09:30	豪	CPI(前年比)	1月 2.5%	2.6%
	09:30	豪	CPIトリム平均値(前年比)	1月 2.8%	-
2月27日	00:00	米	新築住宅販売件数	1月 657k	680k

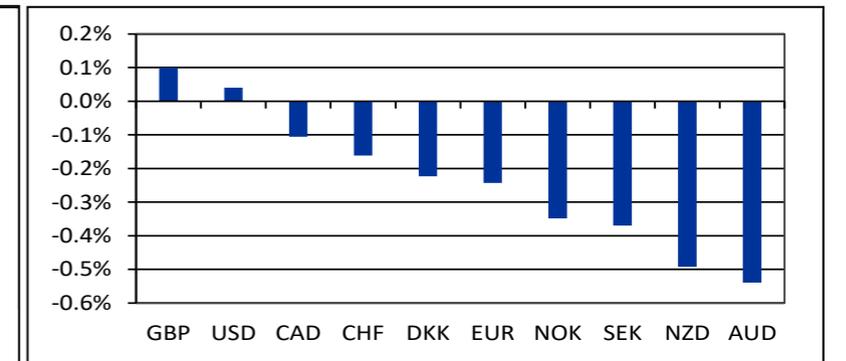
【本日の予定】

Date	Time	欧	Event	予想	前回
2月27日	19:00	欧	消費者信頼感・確報	2月 -	-13.6
	22:30	米	GDP(年率/前期比)	4Q S 2.3%	2.3%
	22:30	米	個人消費	4Q S 4.1%	4.2%
	22:30	米	耐久財受注(前月比)・速報	1月 2.0%	-2.2%
	22:30	米	耐久財受注(除輸送用機器)・速報	1月 0.3%	0.3%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	22-Feb 221k	219k
2月28日	00:00	米	中古住宅販売仮契約(前月比)	1月 -0.9%	-5.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.00-149.80	1.0450-1.0550	155.20-157.20

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はレンジ内での推移。東京時間は材料難の中、米金利が下げ幅を縮小する中でドル円もじり高となり海外時間には149円台後半まで上昇。米1月新築住宅販売件数が予想を下回ったことに加え、トランプ米大統領がカナダ、メキシコへの関税を4月に延期するとの発言がドル円の重しとなり、一時148円台を付ける下落となった。足元のドル円の上値の重さは、日銀の利上げ前倒し観測が高まっていることも要因としてあげられる。そんな中、三村財務官は日銀の政策に対する市場の見方に対して、「齟齬はない」としており、市場の考えを支持。朝方には米半導体大手の決算を無難に通過したものの、翌週の米経済指標を確認するまではリスクセンチメントの改善は見込めず、警戒感は漂う。トランプ関税の先行きも不透明な中、本日も引き続きドル円は上値重い展開を予想する。

東京	東京時間のドル円は149.05レベルでオープン。日経平均株価が軟調に推移し、一時148.63まで下落した。その後は米金利上昇に伴い、じり高で推移し149.62まで反転上昇し、149.59レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	149.59レベルでオープンし、149.23から149.64の比較的狭いレンジ内で取引され、149.63レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0488レベルで始まり、方向感のない値動きに終始。1.0477レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台前半でスタート。手がかりが多くない中、米金利の上昇を背景とした買いが優勢となり、ドル円は底堅く推移し、149.63でNYオープン。午前中に発表された米1月新築住宅販売件数が予想を下回った他、トランプ大統領が対カナダとメキシコへの関税案実施を4月に延期するとの発言を受け、ドル売りが優勢となり、149.10付近まで下落。午後は米金利が下げ幅を拡大する動きが一段の重しとなり、148.82まで値を下げる。その後は下げ渋り、149.12レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.05台前半でスタート。米金利の上昇に伴ったドル買いが重しとなり、じり安で推移し、1.0477レベルでNYオープン。午前中は先述のトランプ大統領が対カナダとメキシコへの関税案実施の延期を受け、発表後はドル売りから1.0529まで上昇するも、その後ユーロ圏からの輸入品に対し25%の関税を実施する予定との発言が伝わると、ユーロ売りが優勢となり、1.0480付近まで反落。午後ユーロ安の展開が続き、1.0490付近での上値重い推移が続き、1.0485レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。